

この本は、3人のために書きました。

- ① 何を話していいか考えているうちに、
間が空いてしまう人。
- ② 友達同士では話せるけど、
知らない人と話すのが苦手な人。
- ③ 話し方でしくじって、
誤解されてしまう人。

はじめに

01

いい人ほど、 会話が苦手。

「いい人だから会話がうまい」ということはありません。

初対面で会話がヘタな人は、いい人であることを知られる前に、「あの人は感じ悪い」と思われて、2回目がないまま終わります。

自分の住んでいる狭い世界では、「いい人」とわかってもらえるのです。

「あの人、いい人なんだけど、会話がヘタだから損をしているよね」と言ってくれます。

外の世界の人は「あの人は一度会ったけど、何か感じ悪いよね」と思います。

はじめに